

# 地域おこし協力隊活動報告会



総合政策課広報広聴係  
にほんごサロン担当  
佐藤

# 本日の流れ

- ①自己紹介とこれまでの経緯
- ②令和4年度の活動
- ③にほんごサロン「にこちゃん」について
- ④令和5年度の活動
- ⑤自立に向けて



# ①自己紹介とこれまでの経緯

札幌生まれ

カナダ トロントでのワーキングホリデーを通して、言語教育と多文化共生に興味を持つ。帰国後、日本語教師資格を取得。ベトナム ハノイの日本語学校で2年間日本語教師の経験をした後、地域おこし協力隊として倶知安に移住。



# 倶知安の協力隊に応募した経緯

倶知安は以前から大好きな町。

2018

カナダワーホリ

2019冬

2か月間樺山の  
ゲストハウスで働く

2020-2022

ベトナムで  
日本語教師

2022.1

日本語学校の求人を探していた際  
「地域おこし協力隊」を知る。

倶知安に移住できる  
+  
2019年の問題意識  
+  
0から1を作り上げる

→応募!

壁がある…?

## ②令和4年度の活動

4月 5月

### 町内商店街等にヒアリング

菓子工房みやたけ/Natty/The Yard/ハー  
ベストカフェ/BoderLine(ラッキー前リサイク  
ル店)/梅月菓子舗/Boroya/バグースカフェ  
/Sprout/SMiLE Niseko

### 他地域の日本語教室視察

ニセコ町/留寿都村/小樽市ONSA/JTS函館  
/ユツカの会(神奈川)/あーすぶらざ(神奈川)/  
ニセコ町公文式

6月 7月

### プレ日本語教室



サポーター勉強会1回+教室6回  
教室参加人数 サポーター34名  
学習者16名

9月

### 日本語学習支援者養成講座



3時間×3回

講師:北海道日本語センター 二通信子氏  
大井裕子氏  
阿部仁美氏

## ②令和4年度の活動

10月 11月 12月

にほんごサロン  
「にこちゃん」



1月

地域日本語教育  
シンポジウム



2月 3月

にほんごサロン  
「にこちゃん」



# 地域日本語教育シンポジウム

北海道大学主催

第2部「日本語教室始めました」パネルディスカッションに登壇

パネラー：恵庭市 滝川国際交流協会 倶知安町

(日本語教室の立ち上げに向けて活動を行う自治体)



第1部 北海道地域日本語教育シンポジウム

## 稼げる？ やりがい？ 日本語教育

聞いてみよう、それぞれの現場

本シンポジウムは、北海道の多様な日本語教育の現場を知り、発展の翼にゆるやかなつながりを作ることを目的としています

2023.1.21 SAT 無料 12:00~16:30

会場：オンライン  
サテライト会場：北見工科大学・旭川

参加費：無料

主催：北海道大学国際交流センター、北海道大学国際交流センター旭川センター、北海道大学国際交流センター釧路センター、北海道大学国際交流センター帯広センター、北海道大学国際交流センター網走センター、北海道大学国際交流センター稚内センター

協賛：北海道大学国際交流センター、北海道大学国際交流センター旭川センター、北海道大学国際交流センター釧路センター、北海道大学国際交流センター帯広センター、北海道大学国際交流センター網走センター、北海道大学国際交流センター稚内センター

お問い合わせ：国際交流センター 011-221-5511

QRコード

# 修了研修

## ・令和4年度文化庁事業

### 地域日本語教育コーディネーター研修



## ・令和4年度文化庁事業

### 「生活者としての外国人」に対する 日本語教師【初任】研修



# 協力隊全体の活動

くっちゃん地域おこし協力隊だより

「KAEDE」



## 参加させてもらったイベント

- ・ニセコクラシック
- ・ポッケラボ ファミフェス
- ・ポッケラボ 馬搬イベント
- ・子ども食堂 たべるば
- ・雪トピア もちまき

町内の飲食店や事業所に配布

# ③にほんごサロン「にこちゃん」

6月・7月のプレ日本語教室を終えて、課題を整理した。

## 課題

①サポーター1人1人の

「地域の日本語教育」に対する  
意識がバラバラ

②サポーターが主体的に活動できない

③学習者の参加人数が少ない

## 解決策

→ ①勉強会に参加必須とする

→ ②質問シート/教材の寄付

→ ③町内にチラシ配り

# 課題を踏まえ 新しく「にこちゃん」始動

## コンセプト

日本語が上手になることよりも、  
機会をふやすことを大切にした日本語サロン

日本語を教えるという活動ではなく、町に住んでいる人が  
自分たちで町をより良くするための活動として、多文化共生  
の地域づくりをすすめるための場所

機会とは：地域社会の中での、心地よい居場所づくりの機会  
生活の中でのちょっとした知識をもらえる機会  
日本語学習への関心を持つ機会



にほんご×こりゅう×くっちゃん=にこちゃん

▷名称を「教室」から「サロン」へ

### サポーター勉強会

(新規サポーターは参加必須)

昼の回 14時～16時

夜の回 18時～20時

### 内容

- ・大切にしていることを説明
- ・やさしい日本語について
- ・テーマ決め、質問シート作成

### にほんごサロン

(1ターム 10～14回)

月曜日 14時～15時30分

木曜日 18時～19時30分

場所：公民館小or中会議室

# 学習タイムと交流タイム

## 学習タイム(1時間)

テーマに沿って会話



## 交流タイム(30分)

自由に交流する時間

(小ゲーム、かるた、けん玉、ギター…)



# イベント

## 風土館・美術館見学



## ポットラックパーティー



# 参加者の声

## 学習者

- ◎私の日本語学習のモチベーションが  
にほんごサロンです
- ◎にほんごサロンがあって良かった！

## サポーター

- ◎言葉が完璧でなくても  
コミュニケーションがとれることを学んだ
- ◎相手が話し終わるのを待つこと  
相手の話をよく聞くことを学んだ



# にこちゃんのこれから



多文化交流の拠点

地域の  
サードプレイス



## ④令和5年度の活動

### 直近のにこちゃん

●4月10日 13日

フリーにほんごサロン

●5月8日 11日

サポーター勉強会

●5月15日～6月29日

にほんごサロン春ターム

### にこちゃん

春 夏 秋 冬

計4タームを予定

### イベント

- ・出張にこちゃん
- ・町内ゴミ拾い
- ・風土館見学
- ・ポットラックパーティ
- ・協力隊イベント

# ⑤自立に向けて



交流型のにほんごサロン



学習型の日本語教室



どちらもニーズがある

<日本語教師としてできること>

日本人と外国人、両側を向いた働きかけができる

- ・交流型のにほんごサロンは、0初級の学習者に対応するのが難しい

→0初級向けの教室を開催し、日本語教師が担当

- ・「やさしい日本語」を普及

→外国人に日本語でコミュニケーションをとる方法を広める

# ⑤自立に向けて

まずは、今できることから…

- ・出張にこちゃんで、ひらふ地区の事業所に周知  
(ニセコひらふエリアのホテルなどの従業員向け日本語授業)
- ・町内の語学学校と連携し、日本語教室を開催  
(事業所向け教室/受講者を公募し、定期的に開催する教室)



日本語を学びたいと思っている人の情報や、従業員の日本語教育に関心のある事業所、外国人とのコミュニケーションで困っている所などがあれば、力になれるかも…!

ご清聴  
ありがとうございました

